

令和4年度公立小学校における英語教育実施状況調査

※調査基準日は、指定がない場合、令和4年12月1日現在としてお答えください。

※本調査は、公立小学校、義務教育学校の前期課程を対象とします。

※特別支援学校及び特別支援学級は対象外とします。

※本校と分校は、まとめて1校とします。

1. 調査対象学校数

学校数(a)
18,702

2. 英語教育担当者の状況

2-(1) 英語担当教師数

第3～6学年の英語の授業について、担当する教師数（延べ人数）を記入してください。なお、複数の教師で行っている場合は全ての教師について記入してください。

例：

①第3・4学年の例

3年1組…担当：学級担任

3年2組…担当：3年1組の学級担任（授業交換）

4年1組…T・T 主担当：専科教師等，副担当：学級担任

4年2組…T・T 主担当：専科教師等，副担当：学級担任

※上記の状況で実施の場合、表中では、以下の記載になります。

第3・4学年は「学級担任」の欄に「3」、「授業交換」の欄に「1」、専科教師等の欄に「2」と回答（延べ人数のため）。

②第5・6学年の例

5年1組…担当：学級担任

5年2組…担当：5年1組の学級担任（授業交換）

6年1組…担当：専科教師等

6年2組…担当：専科教師等

※上記の状況で実施の場合、表中では、以下の記載になります。

第5・6学年は「学級担任」の欄に「1」、「授業交換」の欄に「1」、専科教師等の欄に「2」と回答（延べ人数のため）。

※「専科教師等（当該小学校所属）」とは、外国語教育のみを担当する教師のほか、学級担任となっていない教師で外国語教育を担当する教師をいいます。

※「特別非常勤講師」とは、教育職員免許法第三条の二第一項の規定に基づき任用されている非常勤講師をいいます。

※複式学級の場合、学年ごとにカウントしてください。

※特別支援学級は含みません。

学年	第3・4学年	第5・6学年	計
英語教育担当教員数 (延べ人数)	81,903 人	78,469 人	160,372 人
学級担任	52,713 人	40,295 人	93,008 人
同学年他学級担任・他学年 学級担任（授業交換）	6,048 人	6,314 人	12,362 人
専科教師等 (当該小学校所属教師)	15,189 人	19,027 人	34,216 人
他小学校所属教師	3,450 人	6,449 人	9,899 人
中・高等学校所属教師	692 人	1,853 人	2,545 人
非常勤講師	3,228 人	4,044 人	7,272 人
特別非常勤講師	583 人	487 人	1,070 人

3. 英語を使用する機会の増加に関すること

3-(1) 授業における、児童の英語による言語活動時間の割合

第5・6学年について、1単位時間(45分)の授業の中で、児童が英語で言語活動をしている時間の占める割合(%)について回答してください。

※特別支援学級は含みません

※言語活動とは、コミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指して実施している活動のことです。(学習指導要領解説 付録8参照)

【聞くことの例】自分のことや学校生活など、身近で簡単な活動について簡単な語句や基本的な表現を聞いて、それらを表すイラストや写真などと結びつける活動。

【読むことの例】活字で書かれた文字を見て、どの文字であるかやその文字が大文字であるか小文字であるかを識別する活動。

【話すこと〔やり取り〕の例】日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを伝えたり、簡単な質問をしたり質問に答えたりして伝え合う活動。

【話すこと〔発表〕の例】簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の趣味や得意なことなどを含めた自己紹介をする活動。

【書くことの例】文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字の大文字、小文字を書く活動。

(単位:校)

	第5学年	第6学年
授業中、75%以上の時間、言語活動を行っている	9,381	9,537
授業中、50%以上75%未満の時間、言語活動を行っている	7,656	7,610
授業中、25%以上50%未満の時間、言語活動を行っている	1,477	1,393
授業中、25%未満の時間、言語活動を行っている	80	69
合計(欠学年を除く)	18,594	18,609

上記の項目を10としたとき、「話すこと〔やり取り〕」「話すこと〔発表〕」にかかる時間の割合を0~10で回答してください。

(※「聞くこと」「読むこと」「話すこと〔やり取り〕」「話すこと〔発表〕」「書くこと」全体で10とした場合)

(単位:校)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
第5学年 話すこと〔やり取り〕	4	151	1,955	5,378	4,451	3,159	1,513	1,259	623	93	9
第5学年 話すこと〔発表〕	49	3,153	8,110	4,954	1,415	719	116	65	12	2	0
第6学年 話すこと〔やり取り〕	8	200	2,281	5,567	4,406	2,993	1,425	1,163	511	62	2
第6学年 話すこと〔発表〕	19	2,602	7,808	5,338	1,685	844	189	100	30	3	0

3-(2) 「話すこと〔やり取り〕」「話すこと〔発表〕」を評価するためのパフォーマンステスト(以下、パフォーマンステスト)の状況

第5・6学年でパフォーマンステストを本年度実施した、あるいは、本年度中に実施する計画がありますか。「実施あり(現段階では実施していないが、実施する計画がある場合を含む)」「実施なし(現段階で実施しておらず、今後、実施する計画もない)」「欠学年」のうち当てはまる欄で「○」を選択してください。また、実施回数(実施予定を含む)も記入してください。

※実施回数とは、当該学年の児童全員を対象としたパフォーマンステストの回数を指します。

(単位:校)

(単位:回)

	実施あり	実施なし	欠学年	実施回数(実施予定を含む)		
				話すこと〔やり取り〕	話すこと〔発表〕	合計
第5学年	18,038	552	112	71,033	65,671	136,704
第6学年	18,130	480	92	67,460	79,066	146,526

「実施なし」を選んだ場合、その理由を回答してください。

3-(3) 「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の設定、公表及び達成状況の把握

「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の設定、公表及び達成状況の把握のそれぞれについて、行っている場合は「はい」を、そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

※「『CAN-DOリスト』形式による学習到達目標」とは、英語を使って実際に何をすることができるようになるのか、その能力を領域別に記述したものを指します。

※「公表している」とは、一覧表にした学習到達目標の児童への配布、単元で使用するワークシートの形式での児童への配布、「学校だより」での紹介、学校のホームページへの掲載等の方法で、児童、保護者等と共有されている状態のことを指します。

■児童と共有している例:

①年度当初の英語の授業(オリエンテーション)で、学習到達目標等を配付し、学期ごとやこの1年間で何ができるようにしなければいけぬかを児童と共有する。

②単元の第1時に単元の課題を設定し、この単元で何ができるようにしなければいけぬかを児童と共有する。

③単元で使用するワークシート形式で児童に示す。

④児童が到達状況を把握するために振り返り等で活用する。等

■保護者や地域の方と共有:

①「学校だより」で紹介する。

②学校のHPへ掲載する。等

※「達成状況を把握している」とは、一覧表やワークシートの形式等で児童に配布した「CAN-DOリスト形式」による学習到達目標をもとに、学年末、学期末、単元内等で評価を行い、学習到達目標を達成しているかどうかを教師が把握していることを指します。

(単位:校)

「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標を設定している学校	「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標を設定している場合、「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標を公表している学校	「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標を設定している場合、「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の達成状況を把握している学校
14,733	9,043	13,099

4. 小学校教師の英語力に関すること

4-(1) 小学校教師の英語免許所有者

小学校を設置している場合、以下の※に該当する小学校教師の数（調査対象教師数）と、そのうち英語免許状を所有する教師数を、それぞれ記入してください。

※調査対象の教師は、調査基準日時点において小学校に所属している教師（臨時的任用の者及び非常勤講師は除く。）です。

※小学校外国語活動及び教科としての外国語を担当するために、中学校、高等学校から来ている英語担当教師は除きます。

※「英語免許状」とは、中学校・高等学校の臨時免許状及び特別免許状を含みます。

(単位：人)

調査対象教師数	小学校教師の英語免許所有者
347,348	24,008

4-(2) 小学校教師の英語力の状況

調査基準日時点において小学校に所属し、第3～6学年で英語の授業を行っている教師（臨時的任用の者及び非常勤講師は除く）のうち、英語能力に関する外部試験を受験してCEFR B2レベル以上を取得している教師数を回答してください。

※調査対象は、調査基準日時点において、小学校に所属している教師です。

※小学校の英語の授業を担当するために、中学校、高等学校から来ている英語担当教師は除きます。

※専科教師については、本務校で回答してください。

※「英語能力に関する外部試験」の結果が、CEFR B2レベル（英検準1級など）以上か否かについては、各試験団体のウェブサイトを参考にして判断してください。

対象教師数	対象教師のうち、CEFR B2レベル以上を取得している教師数
97,849 人	3,541 人

4-(3) 小学校教師の海外留学経験等の状況

※「海外留学経験等」とは、海外にある学校や研修施設等へ通った実績を指します。高等学校卒業程度までに海外に在留し、現地にある学校（日本人学校を除く）へ通った経験も含みます。

※オンラインでの海外留学経験も含みます。

※複数回の「海外留学経験等」がある場合には、その日数を合計してください。

(単位：人)

	海外留学経験等がある教師数
1ヶ月未満	3,125
1ヶ月以上 半年未満	2,510
半年以上 1年未満	1,302
1年以上	1,796
合計	8,733

5. 外国語指導助手（ALT）等の授業への参画状況

5-(1) 外国語指導助手（ALT）等の人数

小学校で学校独自に授業への協力を得ているALT等の人数を回答してください。

※各自治体や学校によって様々な呼称があると考えられますが、本調査における「外国語指導助手（ALT）」とは、英語の授業などで計画的・継続的に参画している人物を指します。英語以外の外国語を担当するALTは含めません。

※人数は、年間の契約人数の総数ではなく、調査基準日時点での人数を回答してください。

※「小学校におけるALT人数」とは、中学校、高等学校及び中等教育学校と兼務している人数を含みます。同一ALTが2校以上の小学校に参画している場合は、いずれか1つの学校で1名とカウントしてください。

※「自治体が独自に直接任用しているALT」とは、JETプログラム以外でのALTで教育委員会が直接任用契約を結んでいるALTのことです。

※「派遣契約によるALT」とは、派遣先（教育委員会）と派遣契約を結んだ派遣元（会社）により派遣されるALTのことです。

※「請負契約によるALT」とは、注文主（教育委員会）と請負契約を結んだ請負業者（会社）により派遣されるALTのことです。

※「学校独自に授業への協力を得ているALT等」とは、ネイティブスピーカーや英語が堪能な地域人材で、「JETプログラム」「自治体が独自に直接任用しているALT」「派遣契約」「請負契約」「補習等のための指導員等派遣事業」に該当しない者を指します。

※日本人とは、第一言語を日本語とする者とし、また、外国人とは、第一言語を日本語としない者とし、

(単位：人)

	小学校におけるALT人数
JETプログラムによるALTの人数	2,545
自治体が独自に直接任用しているALTの人数	2,836
派遣契約によるALTの人数	3,834
請負契約によるALTの人数	546
上記の他、「補習等のための指導員等派遣事業」のうち、小学校における英語の授業に参画している人数	665
上記以外で学校独自に授業への協力を得ている日本人のALT等	1,011
上記以外で学校独自に授業への協力を得ている外国人のALT等	980
合計	12,417

5-(2) 英語の総授業時数における、ALT等の授業への参画状況（令和4年度計画値）

第3・4学年、第5・6学年の英語の総授業時間数（計画値）に対してALT等が参画する授業時数の割合として、当てはまる欄に○を付けてください。

※英語の総授業時数には、教育課程内として、モジュール学習（10分、15分などの時間を単位として取り組む学習）で教科としての外国語等を設定している場合も含まれます。

「総合的な学習の時間」や「特別活動」において英語に触れる時間は含みません。

※1単位時間は45分として計算してください。単位時間の計算によって生じた小数点以下は、全て切り捨てて計算してください。

※計算した結果によって生じた小数点第3位以下は、全て切り捨ててください。

※学校全体の時間数で記入してください。

(単位：校)

【第3・4学年】

	0%	1~24%	25~49%	50~74%	75~100%
総授業時数に対するALT等が参画する授業時数の割合	632	1,834	3,006	3,267	9,959

【第5・6学年】

(単位：校)

	0%	1~24%	25~49%	50~74%	75~100%
総授業時数に対するALT等が参画する授業時数の割合	362	2,014	3,207	5,647	7,470

5-(3) ALT等の授業への参画の具体的状況

ALT等による、以下に示す活動の実施状況について、当てはまるものに○を付けてください。

第3・4学年	75%以上の授業で行った(行う)	50%以上75%未満の授業で行った(行う)	25%以上50%未満の授業で行った(行う)	1%以上25%未満の授業で行った(行う)	実施していない
教師とのやり取りを児童に示すやり取り・発表のモデル提示	13,703 校	2,843 校	1,005 校	419 校	164 校
パフォーマンステスト等の補助	5,589 校	2,189 校	1,840 校	1,894 校	6,621 校
児童のやり取りの相手	12,695 校	3,474 校	1,354 校	452 校	160 校
発音のモデル・発音指導	15,489 校	1,608 校	594 校	297 校	147 校
児童の発言や作文等に対するコメント・フィードバック	6,897 校	3,782 校	2,860 校	2,330 校	2,265 校

ALT等による、以下に示す活動の実施状況について、当てはまるものに○を付けてください。

第5・6学年	75%以上の授業で行った(行う)	50%以上75%未満の授業で行った(行う)	25%以上50%未満の授業で行った(行う)	1%以上25%未満の授業で行った(行う)	実施していない
教師とのやり取りを児童に示すやり取り・発表のモデル提示	13,876 校	2,965 校	992 校	414 校	133 校
パフォーマンステスト等の補助	8,354 校	3,200 校	2,523 校	2,447 校	1,855 校
児童のやり取りの相手	12,753 校	3,719 校	1,367 校	426 校	115 校
発音のモデル・発音指導	15,489 校	1,843 校	633 校	290 校	125 校
児童の発言や作文等に対するコメント・フィードバック	7,219 校	4,289 校	3,047 校	2,349 校	1,476 校

5-(4) ALT等の授業外での活動状況

ALT等による、以下に示す活動の実施状況について、当てはまるものに○を付けてください。

	週1回以上行った(行う)	月1回以上行った(行う)	半年に1回以上行った(行う)	年1回以上行った(行う)	実施していない
英語の授業以外の授業や学校行事での児童との交流	1,811 校	2,067 校	2,900 校	2,331 校	9,591 校
一定の目的を持った授業外での教育活動(例: クラブ・委員会、希望する児童に対する個別指導、異文化理解のための学習)	750 校	1,410 校	1,459 校	1,410 校	13,671 校

6. 英語の授業におけるICT機器の活用状況

以下に示すICT機器の活用状況について、当てはまるものに○を付けてください。

	75%以上の授業で実施した(する)	50%以上75%未満の授業で実施した(する)	25%以上50%未満の授業で実施した(する)	1%以上25%未満の授業で実施した(する)	実施していない
教師がデジタル教材等を活用した授業	17,227 校	981 校	334 校	128 校	32 校
児童が1人1台端末等を活用	3,828 校	4,607 校	5,500 校	4,165 校	602 校
児童がパソコン等を用いて発表や話すことにおけるやり取りをする活動	2,251 校	3,663 校	5,369 校	4,668 校	2,751 校
児童による、発話や発音などの録音・録画	955 校	1,910 校	3,866 校	5,624 校	6,347 校
児童がキーボード入力等で書く活動	1,002 校	1,735 校	3,843 校	6,060 校	6,062 校
児童が電子メールやSNSを用いたやり取りをする活動	62 校	85 校	207 校	787 校	17,561 校

児童が1人1台端末等を活用した活動を「実施していない」と答えた場合、その理由を回答してください。

以下に示すICT機器の活用状況について、当てはまるものに○を付けてください。

	週1回以上行った(行う)	月1回以上行った(行う)	半年に1回以上行った(行う)	年1回以上行った(行う)	実施していない
児童が遠隔地の児童等と英語で話をして交流する活動	56 校	105 校	560 校	1,415 校	16,566 校
遠隔地の教師やALT等とティーム・ティーチングを行う授業	64 校	77 校	319 校	674 校	17,568 校
児童が遠隔地の英語に堪能な人と個別に会話を行う活動	15 校	76 校	185 校	440 校	17,986 校